少年センターだより

平成２９年１１月１６日
発　行
日野町少年センター
日野町河原１丁目１番地
TEL/FAX　0748-53-1325
http://www.rmc.ne.jp/h.g-s.c

温かい校風に思うこと

南比都佐小学校校長　小椋　慶洋

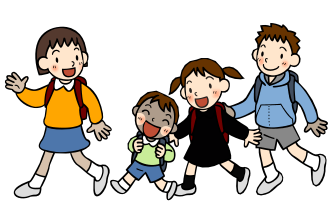
本校は大変交通量の多い県道に面しています。朝の通勤・通学時間帯は特に交通量が多く、無数の乗用車と大型トラックが行き交います。子どもたちが安全に登校して来られるか、毎朝とても心配なのですが、登校班の仲間と協力して、笑顔でやってくる子どもたちの姿を確認し、一人ひとりとあいさつを交わすのは、私にとって毎朝の大切な日課です。

また、行き交う車の中からは、保護者や地域の方々も次々と会釈をしてくださいます。温かく人情味のある地域の方々に支えられ、本校の子どもたちは心豊かに成長してくれていると実感する時間でもあります。

ある日の夕方、たまたま廊下を歩いていると、玄関から入ってこられた男性から、「お久しぶりです」と声をかけられました。見るとその男性は、私がまだ教師として駆け出しの頃に、ある学校で担任をさせてもらった方でした。朝の通勤途中に私の姿を見て、帰りに訪ねてくださったのです。互いの近況を語り合った後、私に出会ったことをその場でお母さんに携帯電話で報告され、お母さんとも思い出話をしゃべらせてもらいました。

昭和の終わりから平成の初めの頃のことです。今思うと、学校は随分のんびりした時代でした。至らぬ点ばかりの若い教師であった私は、明るくて素直な子どもたちと、協力的で寛容な保護者や地域の皆さんに育てられ、教職のスタートを切らせてもらいました。そのことを思い出すと、本校の子どもたちの様子や地域の方々の温かさは、まさに当時とそっくりだなと感じます。子どもたちは礼儀正しく、思いやりがあって、全校児童がとても仲良しです。自分と考えが合わなかったり、行動のペースが違ったりする子がいても、それを排除するのではなく、優しく寛容な気持ちで包み込むことができます。こういう姿が今後も伝統として続いていくことを願い、目指していきたいと考えます。

近頃、他人の失敗をことさらに攻撃する発言がネット上で拡散したり、大人同士が対立する相手を呼び捨てにしたり罵倒したりするニュースが目につきます。こうした不寛容や非礼の風潮に、心を痛めておられる方も多いと思います。子どもたちには真似してほしくありません。私たち大人が、広い心をもって人に接し、礼儀やあいさつ、言葉を大切にしていかねばと感じるこの頃です。



11月1日(水)から
30日(木)まで

滋賀県子ども・若者育成支援強調月間

滋賀県では、１１月１日～３０日までの一か月間を、「滋賀県子ども・若者育成支援強調月間」と定め、“たくましく伸びよう　伸ばそう　湖国の子”を月間統一スローガンに運動が展開されています。

この期間中には、県民の子ども・若者育成支援に対する理解を深め、子ども・若者を孤立させず地域全体で支えていく社会となるよう、広報啓発活動や各種行事が関係団体等で開催されています。

日野町少年センターでは、日野町少年補導委員会や関係団体の協力を得て、重点取り組み事項の一つでもある「青少年を犯罪や非行等から守るための取組の推進」として、万引き防止と青少年の健全育成のための啓発を行います。

平成 28 年度の県内における少年の検挙補導数は、前年より減少しているものの、初発型非行である万引きや非行の入り口と言われる深夜はいかい、喫煙は全体の中で高い割合を占めています。これらを未然に防止し、子ども・若者が健やかに成長し、明るい未来を切り拓いていくことが出来るよう、家庭、学校、関係団体、地域が一体となった取り組みを進めましょう。

たくましく　伸びよう
伸ばそう　湖国の子

12月の活動予定

１日	東近江警察署歳末特別警戒出動式
	街頭補導
２日	青少年意見発表大会
６日	県少年センター所長会
８日	街頭補導
１２日	有害図書等立入調査
１４日	少年補導委員幹事会
	ペープサート練習
１５日	街頭補導
１９日	防犯教室（さくらだに幼児園）
２２日	街頭補導
２６日	有害図書等立入調査
２９日	年末特別街頭補導
３０日	年末特別街頭補導

センター職員随時パトロール

深夜はいかい

保護者は、特別な場合を除いて、深夜（午後 11 時から午前５時まで）に青少年を外出させないようにしなければなりません。

特別な理由がある場合以外に深夜の時間帯に青少年を連れ出したりしてはいけません。

万引き

引きは犯罪です。万引きや自転車盗は、非行の入り口といわれる初発型非行です。

万引き等を繰り返すうちに罪の意識が薄れていき、次第に非行がエスカレートする危険性もあります。

万引きはしない・させない・許さない

喫煙・飲酒

未成年者の喫煙・飲酒は法律で禁止されています。

未成年者にお酒を飲ませたり、煙草を吸わせたりしてはいけません。また、販売してもいけません。

大人が止めよう！　地域で止めよう！

少年補導功労者表彰を受賞

平成２９年９月３０日（土）に開催された「なくそう犯罪滋賀安全なまちづくり県民大会」において、日野町少年補導委員の竹村一男さんが、少年補導功労者として滋賀県警察本部長および滋賀県少年補導員会連絡協議会長から表彰されました。

これは、長年にわたり地域に密着した少年補導活動等を推進され、少年の非行防止と健全育成に尽力された功績が認められての表彰でした。

子ども達が安全・安心して暮らせる環境つくり！

少年補導委員　竹村一男

この度、名誉ある表彰をいただき、心より感謝しております。

少年補導委員の活動目的は、少年の非行抑止に努め、子ども達を良い方向へ正しく導くことだと思っています。

日頃の活動として、少年センターと町内の補導委員２３名が相互協力し、青パト街頭パトロール、中学校朝のあいさつ運動、氏郷まつりなどイベントでの啓発・パトロール等々ですが、近年ペープサート（紙人形劇）にも力を入れ、幼稚園・小学校を訪問して防犯啓発活動も展開しています。

少子高齢化が進む日本で子どもは国の宝であり、家庭・学校・地域社会が協力して子どもたちが安全・安心して暮らせる環境つくりに努めることが大切であると思います。

今後も、補導活動を通じて子どもたちにとって身近な存在で『なんでもしゃべれる』おじさんをめざし奮闘しようと考えています。

滋賀県青少年補導センター連絡協議会 研修大会

９月３０日（土）高島市観光物産プラザにおいて、県内の少年補導委員と少年センター職員等を対象に研修会が開催されました。佛教大学教育学部教授の原誠治さんから「ネットいじめの構造とその対策-スマホ社会に活きるこどもたち-」の講演後、３分科会に分かれて補導委員活動について意見交換をしました。

今年度は、分科会で日野町少年補導委員会が事例発表を行うこととなり、森田貞夫会長が、毎週金曜日夕方の街頭補導の状況や火曜日の朝の中学校でのあいさつ運動、ペープサートを使った防犯教室・非行防止教室等日頃の活動を発表しました。その後、最近は街頭補導中に若者を見かけなくなったことや安全なスマホの使い方、啓発の方法等県内の少年補導委員で課題や成果について話し合いました。

「研修大会に参加して」

少年補導委員会会長　森田貞夫

朝のあいさつは「生活基本の第一歩」講師の原先生が「あいさつ」の大切さを語っておられました。補導委員と各団体の皆さんと今春より朝、中学校の校門前で子ども達に「おはよう」と声かけ運動をしております。

４月頃は声かけをしても７割位の子ども達しか返事がなかったのですが、９月頃になると元気よくあいさつしてくれる子ども、恥ずかしそうにあいさつしてくれる子どもと、ほぼ全員があいさつをしてくれる様になりました。

家族、地域みんなで気軽に「おはよう！」とあいさつし、気持ちの良い朝を迎えようではありませんか？そんな地域づくりを目指した活動を進めていきたいと思っています。

日野幼稚園防犯教室

しらない人にはついていかない

１１月１日(水)、日野町少年補導委員会は、日野幼稚園で防犯教室を開催し、ペープサートで「しらない人にはついていかない」という劇を上演しました。劇の中で誘拐犯がどこに隠れているかを教えてくれたりしてとても熱心に鑑賞してくれました

その後、日野警部交番のおまわりさんから、「いか・の・お・す・し」のお話があり、知らない人に声を掛けられたり、連れて行かれそうになった時には、「いかのおすし」とみんなで練習しました。また、ペープサートで出てきた熊の「くまおくん」が着ぐるみで登場し、みんな大喜び、最後に「くまおくん」ともう一度「しらない人にはついていかない」と約束しました。

いかのおすし

しらない人について（いか）ない
しらない人のくるまに（の）らない
（お）おごえをだす　（す）ぐにげる
なにかあったらすぐ（し）らせる

地域で見守り

豊田地域自治会連絡協議会

豊田地域自治会連絡協議会は、５年前より小学生が安心して下校できるよう、見守り活動を毎日実施され、地域の安全なまちづくりに貢献されています。

豊田１区から５区で順番に当番を決めて、毎日、小学生の下校時間に合わせて立っておられます。立っていてくださる方にお話を聞くと、「私たちの区では老人会が中心に立っています。低学年から高学年までが帰る時間を立っているのは、夏の暑い日やこれからの冬の寒い日など大変です。しかし、毎日立っていると、最初はお帰りと声を掛けても恥ずかしそうにうつむいていた子が今では大きな声であいさつもしてくれます。」とにこやかにお話しくださいました。

この功績に対して、10月14日(土)に開催された日野町地域安全活動推進大会において、日野町防犯自治会会長から地域安全功労団体表彰を受賞されました。

麻薬・覚せい剤乱用防止運動

平成29年10月1日(日)から11月30日(木)

ひとりで悩まないでまずは相談を！

少年センターでは、少年に関する悩みや心配ごとの相談を行っています。本人だけでなく、家族の方の相談も受けています。
また、無職少年の就労・就学の支援も行っています。高校を退学して、就労も就学もしないで家にいる、中学校（高校）を卒業して、就職したがすぐ辞めてしまい今は何もせず家にいる、ひきこもりで進路が決まっていない等の本人、家族の相談も受けています。お気軽にお越しください。秘密は厳守します。

○電話相談　　○面接相談　○相談時間：月～金　9:00～16:30

日野町少年センター（日野町勤労福祉会館　2階）
電　話　0748－53－1325　　E-mail　hino.t-syonen.c@rmc.ne.jp